

重点施策・総論の骨子案に対する委員の意見

骨子案	意見	対応
全体	<p>「取り組みの方向・課題」, 「当面の重点的な取り組み」, 「取り組みの進め方」の関係がよく分からない。スパイラル状に拡大していくようなイメージ図があると一層いい。(平本委員)</p> <p>全体の流れが分かりやすいようにしてほしい。(大沼委員)</p> <p>提言書は, できるだけ具体的な言葉を使いたい。骨子案の目に飛び込むものの中でイメージするものを調整したい。(中島委員)</p> <p>興味のあるところから読み進めることができるよう, フローチャートをつけたらどうか。(大坂委員)</p>	<p>関係図については, 委員から具体的な修正案の提示がなかったことから, 骨子案を生かすこととするが, 「取り組みの方向・課題」, 「当面の重点的な取り組み」, 「取り組みの進め方」の矢印は, 双方向の形に変更する。総論の骨子や分科会の議論のまとめを提言書に添付し, 読みやすくなるよう工夫する。</p>
	<p>協働で取り組むというものがあちこち出てくると思うので, 各主体の役割も盛り込んでほしい。(大坂委員)</p>	<p>各主体の役割については, 「市の素案に対する意見」として整理。</p>

	骨子案	意見	対応
これからのまちづくりの大切な視点	市民自治の推進	「市民がまちづくりの主体として～」「市民が <u>郷土愛に燃え</u> まちづくりの主体として～」（高田委員）	「市民がまちづくりの主体として、 <u>まちを愛しその役割を積極的に担い</u> ～」として記述を追加。
	札幌ブランドの創出	「札幌ブランドの創出」となっているが、歴史・文化については、守って、つくって、継承していかなければならないので、そういう表現にしてほしい。（中井委員）	タイトルを「札幌ブランドの創出・ <u>継承</u> 」に変更。 「～札幌ならではの魅力を <u>創出する</u> 」を「～札幌ならではの魅力を <u>まもり・創り・育てる</u> 」に変更。
		「～魅力を創出する」「～魅力、 <u>産業を創出する</u> 」（高田委員）	「当面の重点的な取り組み」における「札幌独自の魅力を発信する取り組み」について「～札幌独自の魅力や <u>特色ある産業を創出・発信する取り組みを推進する</u> 」とした。
	サステイナブルシティの実現	サステイナブルシティの意味が分からない。（工藤委員） タイトルは「持続可能でコンパクトなまち」でどうか。（太田委員）	タイトルを「持続発展が可能な都市の実現」に変更。
「 <u>持続可能な都市を創出する</u> 」「 <u>北方圏に位置する個性ある都市を創出する</u> 」（高田委員）		「札幌ブランドの創出・継承」において「 <u>北方都市札幌ならではの～</u> 」として記述を追加。	

	骨子案	意見	対応
これからのまちづくりの大切な視点	安心・安全なまちづくり	「安心・安全なまちづくり」「安心・安全・元気なまちづくり」（高田委員）	分科会のまとめの「安心・安全」というキーワードをそのままの形で生かして原案どおり。
		「～ <u>社会を実現する</u> 」「～ <u>まちを実現する</u> 」 又は「～ <u>まちづくりを行う</u> 」（太田委員） 「施設と心のバリアフリーを目指し、共生のまちづくりを実現する」ということを盛り込んでほしい。（柴川委員）	「～共生のまちを実現する」に変更。
	市民活力の向上	「～まちづくりの担い手を育てる」「～まちづくりの担い手・ <u>人材</u> を育てる」（高田委員）	人材育成については、「取り組みの進め方」に項目を追加。
取り組みの方向・課題	経済・雇用	「困った時の支援体制づくり」「働く意欲を支援する体制と雇用の創出」（高田委員）	分科会報告の資料Aをベースに記述していることから、原案どおり。
	共生・地域づくり	-	
	環境・都市機能	-	
	文化・人づくり	-	
当面の重点的な取り組み	札幌独自の魅力を発信する取り組み	「魅力」という言葉が重なって使われている。全部に言えことだが、もう少し言葉を精査してほしい。（中井委員）	「札幌の魅力を世界にアピールする都心のまちづくりを推進」に変更。
	市民・NPO・民間の活動を活発にする取り組み	「多種多様な小さな企業、起業への支援～」 「 <u>多種多様な小さな企業の活性化</u> 、起業への支援～」（高田委員）	「 <u>多種多様な小さな企業の活性化</u> 、 <u>起業支援</u> ～」に変更。

	骨子案	意見	対応
当面の重点的な取り組み	環境への負荷を低減し、自然を保全・育成する取り組み	「自然を <u>学</u> び」「自然に <u>学</u> び」（太田委員）	「自然に <u>学</u> び」に修正。
	地域住民の交流や活動を活発にする取り組み	「札幌の特徴的活動として、冬でも遊べるバリアフリー公園と、誰もが友達づくりをするふれあいの拠点を創設する」ということを盛り込んでほしい。（柴川委員）	趣旨を踏まえて、タイトルを「地域住民のふれあいや交流を大切にし、活動を活発にする取り組み」に変更。
		健康づくりに食の問題を盛り込むべき。（高田委員）	分科会報告の資料Aをベースに記述していることから、原案どおり。
		地域スポーツクラブだけ具体的で浮いているような気がする。（大坂委員）	「 <u>地域</u> でのスポーツクラブの形成」に変更。
	子ども・高齢者・障がい者・女性などを地域の中で支える取り組み	「ニーズの高まる分野での産業～」に食に係る産業を盛り込むべき。（高田委員）	分科会報告の資料Aをベースに記述していることから、原案どおり。

骨子案		意見	対応
当面の重点的な取り組み	子どもの教育を地域の様々な主体が協働して実践する取り組み	「PTA, 地域, 企業など～」については, 「町内会」も明記してほしい。(飯塚委員) 「PTA, 地域, 企業など～」 「地域, <u>家庭</u> , 企業など～」(高田委員) 「PTA, 地域, 企業など～」 NPOも入れてほしい(大坂委員)	これらすべてを例示として記述することは無理であることから, 「地域社会の様々な分野からの学校運営への参画を可能にし～」に変更。
		「共に子どもの教育を担う」 「共に子どもの教育を <u>真摯</u> に担う」(高田委員)	他の記述とのバランスを考慮して原案どおり。
	その他	雪対策をどこかに入れるべきではないか。(大坂委員)	「取り組みの方向・課題」の「環境・都市機能」に「協働による雪対策など北の都市課題への対応」を追加。
取り組みの進め方	共通	4つのキーワードの抽象度のレベルが違うので合わせるべき。(伊藤委員)	「規制緩和」を「規制と緩和」に変更。

骨子案		意見	対応
取り組みの進め方	規制緩和	規制緩和の中に例示されているのは、公共空間や公共施設のこと。だとすれば「柔軟な運用」又は「柔軟な使い方」でいいのでは。 (工藤委員) 「規制緩和」「市民みんなの共有」(高田委員)	タイトルを「規制と緩和」に変更するとともに、例示の記述を整理して、都市景観に係る記述を追加。
		「公共空間や学校などの公共施設を～」 「公共空間や学校、 <u>廃校</u> などの公共施設を～」(大坂委員)	ここでは原案どおりとするが、文章化の際には、分科会報告にある「小学校跡施設の活用」ということも考慮。
	協働の仕組み	「 <u>協働の仕組み</u> 」「 <u>協働の試み</u> 」又は「 <u>協働での実施</u> 」(大坂委員)	タイトルを「協働での実施」に変更。
	情報の共有化	-	
	人権と個性の尊重	項目を「人材育成」として、まちづくり教育やまちづくり読本のことも盛り込んでほしい。 (中井委員)	人権などについては、市民会議での議論として強調すべきと考えるので、原案どおり。人材育成については、新たに項目を追加。